



名勝 小金井桜の会 会報

ヤマザクラ

第3号

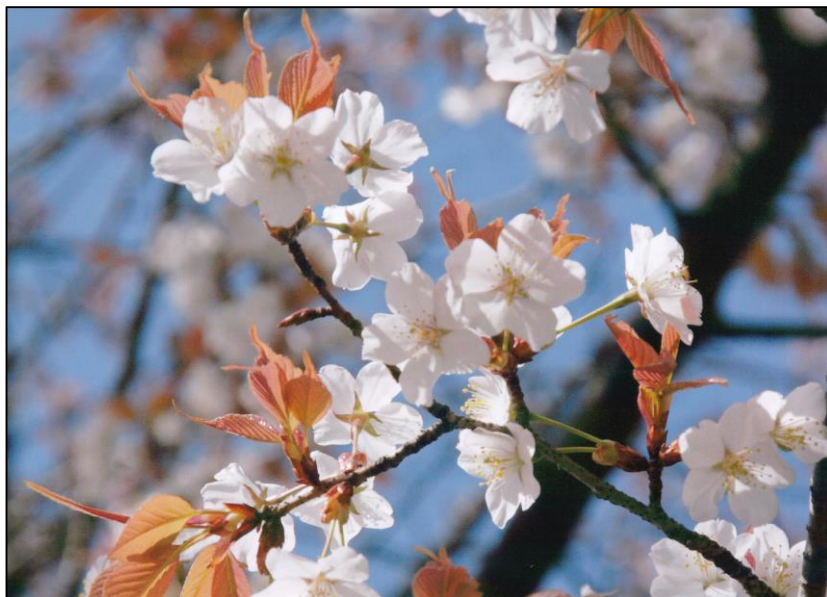
2015年7月

発行：事務局 植竹

Hp <http://koganeizakura.com>

〒184-0004

小金井市本町 4-19-8



第17回写真展金賞

「朝日に輝く・樹木番号2」

撮影：戸田直子

最近の活動状況 その1：

*27年度総会（5月）

5月16日に今年度総会を開催（18名出席）し、26年度決算及び27年度の役員体制、予算について審議しました。議論の主体は、多額の費用を要した育苗ファームの移転経費支出を今年度予算でどうやり繰りして行くかで、本経費は“行政との協働事業”である苗木育成の為のやむを得ない必要経費であることから、新育苗ファームに移植した苗木81本の提供単価を改定して回収を図るべく予算化し、今後行政と交渉して行くこととなりました。更に本予算は暫定的に扱い、状況の推移を月例会で報告しつつ必要な修正を行うことになりました。また、樹勢調査への東京樹木医PJの参画を見送る等、活動に当たって極力節約に努め、3カ月毎に収支をチェックしつつ次の3カ月の行事予定を確定するような会の運営をして行くこととします。承認された総会議案書は会のホームページに掲載していますので、ご参照ください。

*第17回小金井桜写真展と表彰式（5月・6月）

5月29日から31日までの3日間、公民館緑分館で行われた第24回緑センターまつりの会場で名勝小金井桜の会が主催する第17回小金井桜写真展が開催されました。この写真展は平成11年に開始され名勝小金井桜の美しさを小金井市民に知っていただき、併せて名勝小金井桜の歴史と現状、小金井桜復活事業について理解を深めていただくことを目的に現在まで継続実施されています。今年の応募作品は50点で例年よりやや少なめでしたが、これは今年の桜の開花期間が短かったことが原因と思われます。応募作品の中から写真家鏑山英次氏の審査により選ばれた20点を会場に展示しました。また展示期間中の来場者による人気投票を行いました。

6月19日の例会に先立って写真展の表彰式を開催し、審査により選定された金賞1、銀賞4、人気投票1位の作品の作者に賞状と記念品を贈呈しました。



裏面に続く

最近の活動状況 その2

*防災訓練&カブトムシ幼虫提供（5月）（NPO 法人主体の事業）

小金井市の西のはずれに位置する三楽公園に、初夏の訪れが感じられる5月24日（日）は、子ども達が楽しみに待っていた「カブトムシ配布」の日でした。

おお、いるいる！ 丸々と太った幼虫がゴロゴロといるではありませんか。 どんなカブトムシに育っていくのか、子供も大人も期待にわくわくしながら2匹ずつ貰い受けました。

三楽公園は貫井神社に続く緑豊かで静かな公園ですから、カブトムシ配布には最適の場所です。 小金井消防署からの赤い消防自動車もあたりの景色に映えて、防災訓練にはぴったりです。この日の訓練は、幼児・小学生とその保護者を対象にしましたので、「初期消火」です。しかし実際に消火器を持つと、気持ちが高ぶり、目標の火元のずっと手前でノズルを抜いてしまいがちです。大人も時々訓練を受けて慣れることをお勧めします。 行事のしめくくりは、防災食（五目ご飯）の試食。 ごちそうさまでした。



*新育苗ファーム活動（6月）

6月6日に4mもの40本、3m以下47本の除草並びに剪定を実施しました。 苗木は順調に育っています。

なお、事前に杉山さんによって「漉き込み」と「防虫剤処理」がされていました。 お疲れ様でした。



*さくら基金の状況（6月20日まで）

基金・イベント募金累計額 203口 2,570,978円

前回の報告値（3月末まで） 199口 2,212,930円 増加額=358,048円

厳しい財務状況にあることも鑑み、引き続き皆様の温かいご支援が得られるよう努力して行きます。

今後の予定：

*第14次樹勢調査

今年度の調査は厳しい予算状況も勘案し、ここ数年協力を仰いできた東京樹木医 PJ の参画を得ずに、桜の会会員のみで実施することとし、昨年同様の調査方法で5ブロックを各ブロック毎にメンバーの都合に合わせて日程を調整し、7～8月中に実施します。

<定例会合>

*例会；毎月第3土曜日 午前10時～12時
場所：小金井市文化財センター 会議室

*育苗ファーム活動；

毎月第1土曜日 午前10時～12時
場所：本町3丁目 小長久保公園

会員になりませんか

ソメイヨシノとは一味違う個性豊かな玉川上水兩岸のヤマザクラを守り、昔のように復活させようではありませんか。小金井橋のたもとでお花見をする日を目指して、さああなたも「名勝小金井桜の会」へご入会ください。

問合せ先：事務局 植竹

電話 042-388-1291

メール bien505@yahoo.co.jp

<編集後記>

会報第3号をお届けします。先日、工事中の小金井公園正門前の玉川上水に架かる人道橋の名称が、小金井桜の生みの親とも云うべき川崎平右衛門に因んで「平右衛門橋」になるとの話を耳にしました。

折しも来年が没後250年にあたるとのことです。この機会に、地元の先達の功績を改めて学び直してみるのも良いのではと思います。